

SSI 学会誌編集委員会 2018 年度第 1 回委員会議事録

日時：2018 年 6 月 9 日（土）10:00-11:10

場所：東京大学工学部 2 号館 9 階 93B 教室（東京大学本郷キャンパス）

出席（敬称略・50 音順）：

伊藤賢一，河井延晃，小笠原盛浩，小川明子，金山智子，河島茂生，嶋崎真仁，杉山あかし（Skype），高橋徹，塚原康博，松本早野香，山本仁志

欠席（敬称略・50 音順）：

天笠邦一，五十嵐寧史，大國充彦，北村順生，木村忠正，小寺敦之，榊俊吾，櫻井成一朗，土屋祐子，林隆文，野田哲夫，叶少瑜

【報告事項】

1. 投稿数・学会誌発行状況

- ・和文誌には，2017 年度 12 本（掲載 6 本，審査中 1 本），2018 年度はこの時点ですでに 9 本の投稿がある。
- ・6 巻 1 号（2017 年 10 月発行），同 2 号（2018 年 4 月発行）を発行した。現在 3 号を 2018 年 7 月を目途に発行準備中である。本来は，2017 年度中に発行すべきものであったが遅れている。2018 年度中に本来のスケジュールに戻したい，と報告があった。
- ・英文誌は投稿 1 本（審査中 1 本）で，翻訳論文を募集中である。こちらも発行は遅れているが，Vol. 11 は 2018 年 9 月発行を目指している。

2. その他

- ・特になし

【審議事項】

1. 編集作業・書式の修正について

- ・「SSI 学会誌編集作業の流れメモ」の修正を承認した。査読者を決定する際に，編集長・副編集長が調整し，特定の査読者に過度の負荷が集中しないようにするためのもの。
- ・査読者への依頼について，意見交換を行った。依頼する際に「他の査読者候補を紹介してほしい」とあらかじめ頼んでおく，学会報告や学会誌で同じようなキーワードで報告したり論文を書いている人を探す，編集委員会のメーリングリストで論文キーワード等から査読者候補を募る，等のノウハウが紹介された。

- ・やはり名簿があるとよいので、理事会に申し入れることにした。
- ・若手を入れて運営側に入ってもらおう工夫が必要なので、査読者は准教授以上が原則であるが、3人のうち1人は助教でもよいのではないかと、という意見が出た。
- ・和文誌書式_様式1「受付台帳」の修正を承認した。「最終学歴」の欄は削除し、「査読委員会」は「編集委員会」に修正する。
- ・和文誌書式_様式2「投稿申込書」の修正を承認した。文字数の記載を追加する。生年月日欄の削除も議題に上ったが、論文奨励賞で「掲載時40歳未満または大学院在学時の論文」とあるので、残すこととした。
- ・規則類3「執筆要領」の修正を承認した。4(3)「各項目の書き出しにあたっては用紙を改めること。」を削除。
- ・和文誌書式_様式4a「査読依頼書」の修正を承認した。日付が元号になっているので、西暦へ変更することとした。書式4b, 5a, 5b, ... も同様に修正することとした。

2. 委員の追加について

- ・分野的に足りないのは、社会心理学と社会調査に関する委員。引き続き、候補者を推薦してもらうこととした。

3. 今後の和文誌編集担当について

- ・6巻3号(2018年7月発行予定・編集担当：金山智子委員)後の編集担当について、以下のように決定した。
- 7巻1号(2018年9月発行予定)：高橋徹委員
- 7巻2号(2018年12月発行予定)：嶋崎真仁委員
- 7巻3号(2019年3月発行予定)：小川明子委員
- 8巻1号(2019年6月発行予定)：河島茂生委員

4. 今後の英文誌編集長について

- ・Vol.12は北村順生委員が編集長となる。もう一人の編集長について候補委員と交渉することとした。

5. 今後の特集企画について

- ・8巻1号で特集を企画することとした。担当は河島委員、テーマは「AI」もしくは「ネオ・サイバネティクス」で検討することとした。

6. その他

- ・次回の編集委員会は、9月の学会大会(島根大学)で行うことで調整することとした。